

「出雲旅行一人旅の記録」

本日の私は飯田線の電車内にてのんびり過ごしている、いつもなら仕事で早く仕事終わらないかなーで過ごしている時間である。

何故？電車内かと言うのは勤続 30 年、会社より旅行券+お金と休暇を貰えての一人旅！
コロナ過で 2 年間延長！ようやく移動自粛もなくなり、計画を 6 月に立てて行き先を決めての旅行になった。

日程と行き先は大分悩み、体の治癒の温泉・独り身なので縁を担ぐ神社の出雲に決定！

今回の旅行は 2 つの心配事があった。以下の項目である

- ・体の調子もどうなるか分からない（排泄関係）
- ・コロナ感染症の予防
- ・電車
- ・飛行機
- ・暑さ対策で前後の宿泊をビジネスホテル（体力面）

申し込んだ時のコロナ感染者数は少なかったが、7 月から第 7 派の感染者数で蔓延防止が出るか？ドキドキの毎日でした。

それでも今は目の前にある飯田線の電車風景に満喫状況である。3 両編成の車両に乗客 6 人は廃線にならないかな～大丈夫かな～複雑な気持ちです。



飯田線電車内



特急伊那路

飯田駅～豊橋駅までの間は携帯カメラで風景撮影など小学生以来の飯田線の車内撮影に大満足して 3 時間後に豊橋駅降りましたが、困ったのは駅内の移動は片手でキャリーケースとリュックを背負い。片側に杖を突いての移動です。

杖は念のために持ってきたのですが、やはり、使用する事に（；T T）

次に何かあったらすぐに行けるようトイレの場所確認です。場所確認後は安心し昼食場所探して昼食です。和風カレーでしたが旅行のカレーは美味しくて写メ撮るのも忘れて食事してました（^^）

食事後は新幹線で名古屋まで！



新幹線画像

写真は駅のホームですが車両の横面しか撮れず(´▽`)に出発が来てしまいました。

乗るときは杖を持っているので乗り降りする方が気を使ってくれるので感謝しながら名古屋駅まで到着です。

到着後はここでもトイレの場所確認です。すごく神経使います。

駅から出た後は、予約した、ビジネスホテルにすぐ着くはずだったのですが、なかなか見つからず焦ります。旅行会社からは4分で着くと有ったのに貰った地図で移動していたのですが、場所分からず。たまらずコンビニの店員に聞いてのビックリ駅の反対側であることが判明、グーグルマップを使用した方が分かりやすいとアドバイスを受け、そういえば、そんな機能が有ったな～(;^_^A 普段使用しない機能なので忘れていました。

雨も降りだし、ようやく宿を発見！

苦労したけど、お洒落な新しいビジネスホテルに感激(^^)／



名古屋ホテルリソル室内

ホテル到着後は排泄関係で神経使ったのか、朝 5:00 起きもあり、コンビニ弁当食べたら疲れて眠ってしまいました。部屋の雰囲気がモダンで熟睡ばっちりです。

携帯の目覚ましベルが鳴り、気が付いたら朝！今朝は何故か体調がとても良い、身支度を整えてホテルからタクシーで小牧空港へ向かう、空港に向かう中、運転手さんと軽く話を掛けて来たご旅行ですか？昨晚は涼しくて今日は涼しい方ですよ 2 日前だったら路面温度も加味して 42 度位になっているよと切り出してくれた。色々話をしていると、長野に登山に行ったことがあり、御嶽山噴火の 2 日前に下山したとの話でビックリ！そんな偶然あるんですねなど話が弾む。久々に笑ったような気がした。そうこうしているうちに 20 分弱で空港に到着、運転手に会釈をして空港に入る。

空港到着後にすぐトイレを探して一安心して 7:45 発出雲行の手続きに入った。飛行機が初めてであったが手続きがすんなりと進む、待っている間に空港の入り口に写メ撮影用があったので杖を置いて撮影、一寸法師みたいに撮影が出来て満足。



杖を置いて



卵に指を刺す

搭乗時間が来て手荷物検査が始まる、杖など全部を渡してセンサー内を通るあれれ何故か G ショックしていたけど素通り？杖に気を取られて外すのを忘れていた(´▽`)

搭乗は杖を持っていたので優先で先に案内してもらった、嬉しいような悲しいような気持になる。

席に着いたらすぐにトイレの確認を行う。もはや習慣になってしまっている(TT) 離陸後私の頭の中は排泄関係が持つか頭の中がいっぱいである。

客室乗務員の方が緊急事態時の対応とベルトの説明をしているが、緊張感でそれどころではないふと気が付いたら飛行機がベルト着用サインが出ていた。

飛んでいるんだなー、周りをようやく見るゆとりが出来る。緊張から解き放たれた気がした。ビオフェルミン飲んでいるので今の所、おならも出ないので一安心である。

それでも、人が多い所でおならが出ないのを祈るのみである



搭乗直後



窓からF D A 飛行機

搭乗後、飛行が安定してから、クロワッサンとお茶が出る体の調子に影響があるかな～食べてみる。朝から食べていないのでとても美味しい。食後はいつもの薬を服用する。暫くしてトイレに行きたくなったが、ベルトが上手く外れない、焦る（；；）客室乗務員に外し方を再度聞いて外してトイレへ！何故か安心感が出る。一言、「良かったー」思わず出た言葉だった。

その後、飛行機が降下に入るとの放送があり、着陸態勢に入り、ズドンと着陸。1時間の飛行であったが凄く疲れたような気がした。

1日あるんだヨな～空港改札を出ると私の名前を持った観光タクシーの人が待っていてくれた。早速、荷物をタクシーに積み込んで最初に行く決めていた出雲大社へ！

今回、タクシー観光にしたのは体の事、排泄の事、地域を知らないのでドライバーお任せにしたかったからだ。一人で贅沢に行く旅行は尚、ストレスがたまらない。

ドライバーさんとは親子ほどの年齢があったが話が弾む、私の名前が親戚に似ているからビックリと言っていたので聞いたところ、私の親の名前と苗字・名前まで同じだったのでなおさらビックリ、おふくろに良い土産話が出来るなーと話が弾む、出雲大社の話もあり、いきなり縁結びの縁が出たのかと、喜びが出てしまった。

運転手さんには私の体の状況と今回の旅行のいきさつ、病気入院の時の状況を話す

やはり脊髄梗塞って病気は初めて聞けらしく改めて珍しい病気なのだと実感する。

出雲大社到着後、この日のために準備した、一眼レフカメラを取り出す（^^）

ヤフーオークションで落札したカメラだが稼働は確認済み。

リュックサックもUSBポート付の物で充電もばっちり！携帯の充電が無くてもすぐ充電は可能！

いざ観光へ向かう、最初は**国譲り、国引き神話の舞台**

稲佐の浜「弁天島」の岩を見に行きましたが工事中！砂浜の迂回路があり、杖について砂

浜移動は断念しました。

それでも工事の防護壁の隙間越しに写真を撮影！運転手さんが撮影協力してくれました。



弁天島

いざ近くの**出雲大社**へ

タクシー観光の運転手の計らいで本殿に近い方に駐車してもらい、神社の成り立ちや手水場所に行って左手で口を濯ぎ汚れた手を洗い持ち替えて右手を洗いと思い聞いたところ、私の知っている方法とは違っていたのか？行おうとすると、今はコロナ対策で手を洗うだけとだと言う話で手のみ洗う暑いさなかだったので気持ちいい。続いて参拝場所へ向かう先ずは入る時の銅鳥居へ右側なら右足から入るなど教えてもらう。

いよいよ参拝「**2礼4拍手1礼**」なれないお参りで戸惑う（笑）お尻を神様に向けないよ

うにと指導を受け体を右に向けて移動なかなか難しい（笑）

ここで写真撮影、平日なのか？コロナ過なのかは分からないがお客が少なく、皆がカメラ撮影用に避けてくれるので助かる。



出雲大社拝殿

お参りが終わったら、本殿の歴史を学ぶ、48mの高さがある場所へ柱が立っていた当時の大木の片りんを見せてもらった。これが無かったら48mの高さに本殿に有った話が証明にならなかった。中に入るには60年一度の催事がありその時に調査が入った等 e t c
小中学生なら頭にすんなり入るだろうが、なかなか覚えるのが難しい（笑）



出雲大社本殿裏側

本殿裏側に周り、本殿の大きさを実感する。こんな建物を昔の人はどうやって？立てたのだろう？人の力ってオーパーツみたいだ・・・感嘆とする。

さて、その後は、素鷲社で覚えたての「2礼4拍手1礼」を行い、裏手に山にに触れる神聖な場所で岩に触れる。

次の観光場所に行く事になったので、移動を行う。あ！写メ！あ！お土産！ドタバタしながら縁結びのお守りを買って、運転手さんに写メを撮ってもらう、携帯カメラと一眼レフカメラ両方撮ってもらう（笑）



拝殿注連縄下で撮影

出雲大社近くにスターバックスがあるのが不思議な光景だと思いつつ、次の観光場所へ向かう。

次の移動先は、運転手お任せのコース。私は何処に行くのか興味津々で運転手と会話をする今度は「**佐太神社**」へ・・・どんな神社なんですか？思わず口から出る言葉！

観光タクシーの方が説明をしてくれる。大社造りの本殿が3つ並ぶ、三殿並立という珍しい形式の社殿で皆様に幸せにお導きくださる開運・招福の神として人々に厚く信仰されていて、「縁結び」と「縁切り」の社が背中合わせになった、全国的にも大変珍しい神社等etc・・・縁切りと聞いて縁を切る神社なんてあるんですね。と驚きつつ、今まで、良縁ってあったのだろうかと深く考える（笑）早速、ついでにお参り、写メも撮ってもらう。



佐太神社三つの社

タクシー観光って良いなーって思って次の観光場所へ移動、今度は松江城の近くでお昼を取る事になり、おすすめの出雲そばしじみご飯セットを頼む、堀の中を屋台船が進んでいる、やはり、平日とコロナの影響で観光客は疎らだ、水出しお茶を一杯貰う！これが暑いさなかに最高の美味しさ！水だけで、こんなにお茶が美味しいのだろうか？店主にお茶の入れ方等を教えて貰う。急須にお茶と水だけ・・・・・・・・・・家で飲んでいたお茶は何だったんだろう（笑）そうこうしているうちに出雲そばが出てくる、私は長野に住んでいるけど食べ方が違うなーと感嘆する。



出雲そばでお昼

ここでは大きな冷凍しじみと職場へのお土産。日本酒を買い次の移動先へ車中で武家屋敷・松江城の城壁を撮影しながら宿泊策先へ移動をする。

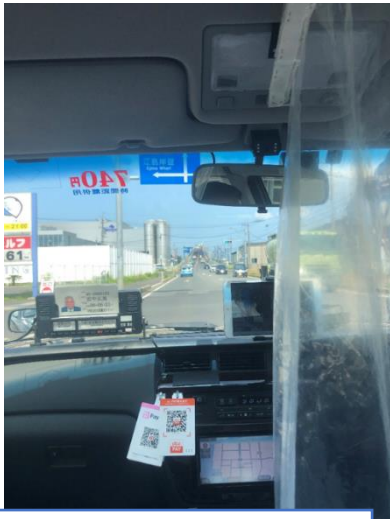


松江武家屋敷



松江城城壁

途中で中海を通り、大根島の由来を聞く、朝鮮人参の栽培を昔していた場所等 e t c の話を聞く。中海が淡水と海水が混ざる所で昔、中海を埋め立てる工事があったが、中断になったとの話も聞いて船が通れるように橋を高くしてある場所を通る



背の高い橋（車中で）

次は？と思ったら、楽しい時間も早いもので宿泊先への移動となった。観光に入る前に私も体の病気の事を説明して、私も体の病気の事や、経過など色々な話を聞いてもらった、タクシー観光の運転手も気さくな方で、体の心配してくれた事等、これが一番うれしい会話だったかもしれない。

宿に到着の間際に運転手さんがこちらの地方の「だんだん（ありがとう）」という言葉覚えておくといわれ宿についてお別れとなった。挨拶の「だんだん」を言い忘れてしまった。(；^_^A

宿は今回、奮発して取れた「さぎの湯荘」と行くところに入った、すぐトイレを探してしまいが身体の体調が持ったので安心である。宿は客室に露天風呂ある部屋で早速、足湯を楽しむ、疲れが取れる。夕飯までの至極の時！貸し切り風呂も申し込みしてあるので、ベッドに倒れこむ！癒しだー！18：00頃までベッドに横になって食事の時間が来たので食事場所へ行く。こんなに食べきれるかなと言う位の量があり日本酒と料理を堪能する。島根牛の油が重く感じる（笑）



夕飯（日本酒は別途）



メインディッシュ（島根牛）

夕食後ひと休みした後 20:00 頃に貸切風呂へ、体を洗い風呂を堪能、今回は排泄の心配もあったので貸切・露天風呂客室の宿を探して貰ったが心配ないようだ!(^^)!



貸切露天風呂にて

貸切風呂堪能してから浴衣を着るが帯の結び方を忘れてしまった(;^_^A 何とかごまかしで着てから部屋に戻る。

部屋には大画面のテレビがあり YouTube 見れたので久々にドリカムの未来予想図Ⅱを見ながら客室の露天部に入り明日の行き先を考える。何処に行こうか？ここは戦国時代の有名な武将が居たな一等々 e t c・・・結局お任せで行く事に決めてライトで照らされているお風呂から出て写メで撮影!(^^)!



客室露天風呂（昼間）



客室露天風呂（夜間）

カメラの昼間の風景と夜の風景を見比べて眠りに入った。

2 日目の朝は朝食後、昨晚の島根牛の油が合わなかったか？お腹の調子を崩す、何とか持ち直してタクシー観光の車に乗り込む。最初に体の病気の話をしてから本日も、お任せで観光をする事になった。

最初は、尼子氏が住んでいた土地と言うことで、**安来市立歴史資料館**に向かう。私の好きな武将で山中鹿之助が出てくる場所になる。お客がいらないけど、ちょうど杖も持っているので観光には都合が良い。色々と見て回り、お土産を買う!(^^)!



お土産w

安来市立歴史資料館を出て、「**月山富田城跡地**」へ行ってもらおう。



月山富田城城壁

山城ではあり杖では足場を取るのが辛く、お腹の不調の事も考えて途中で断念(*´Д`) 次の「**和鋼博物館**」へ向かう。酷暑も予想していたが天気も程よい暑さだ！

和鋼博物館へ到着する。ここもコロナ過・平日なのか観光客は私一人で安心感と複雑な心境であったが心行くまで博物館を見て回る。刀剣の種類たら製鉄の歴史を学ぶ。日本の製鉄技術、日立製鉄工場が近くに有ることも説明してもらう。昨日の観光タクシーの運転手より若い方で私も話の、やり取りにぎくしゃくである（笑）

ここでも製鉄関係でお土産売り場には包丁等の鉄鋼製品が並ぶ(^^)お土産に爪切りを

買う。



車に乗ってから写メを撮れる場所の確認も必要だなーと思いつつ、お昼も近づいて来たので運転手におすすめのB級グルメの牛骨ラーメン店を紹介してもらおう。醤油と塩味があったが塩味を選択。とても美味しい。カレーも鳥取名物だと有ったので悩みの選択（笑）



牛骨ラーメン塩味

お昼を食べて、満足したので。いよいよ「**水木しげるロード**」へ向かう。色々運転手と話をする。運転手も20代の頃、長野に電車で諏訪まで行ったことが、あるとの事で驚き！話が進む、昨日の観光タクシーとは違うけど話は楽しい。

「水木しげるロード」へ入り観光に移る。ここは、子供連れの観光客が多く、人も多い、水木しげる資料館があり、そこへ入館するのにカメラのセンサーに引っかかる(;^_^A マスクの熱が籠って37度を越えたようでもう一度測定、手首の温度を測ってもらい入館。

許可場所で色んな写メを撮る



資料館入口



目玉おやじの秘密



一反もめんと写メ



ねずみ男とツーショット



道路上のオブジェ



妖怪神社

水木しげるロードを満喫して本日止まる、お宿に向かう事になった。

今回のお宿は「**華水亭**」

貸切風呂の予約をして近くにビーチがあるとの事で散歩に出かける。



入口の竹と水



ビーチにて

出かけた後の 17 時半からの食事行く、見た瞬間は最高！太るなきっと・・・(^ ^)



前菜



島根牛



のどぐろの煮つけ



紅ズワイ蟹のレモン



アワビのバター焼き

食事中、島根牛の油がお腹に良くないと実感(ノド`)

のどぐろの煮つけは初めて味わう、アワビのバター焼きも美味しいけどお腹に合わないかもと思いつつ食事を終える。

テレビ鑑賞後、19時半から貸切風呂に向かう、温泉の水を舐めてみる少し塩の風味がする。昨日の温泉もそうだがこちらの温泉は塩の風味が強い。上田の別所温泉は硫黄の匂いが強いので、温泉によっての違いに思いふけるし感慨深い。



海が見える貸切風呂

翌日は朝7:30に朝食、お腹が調子悪い、やはり、島根牛の油は強いな(;^_^A

暫く部屋に籠って、服装を着替える。9:00にタクシー観光の運転手が迎えに来るまでの我慢・・・時間が来るまでお土産を買いロビーでタクシーを待とうとしたらもう本日のタクシー観光が来ていた。おはようございます。昨日と同じ観光タクシーだが運転手が本日は私と歳が近い方で車に乗り込む。昨日の運転手より私の好みをの情報があらしく、今日は昨日の話を聞いたのでお城や神社の関係の由来の場所を案内しますねとあり、観光に向かう事になった。

「上淀白鳳の丘展示館」1300年前にあった遺跡で見つかった寺院石馬など昔この地にあった飛鳥時代の古いお寺の金堂と仏像や壁画が原寸大で復元されている



パンフレット

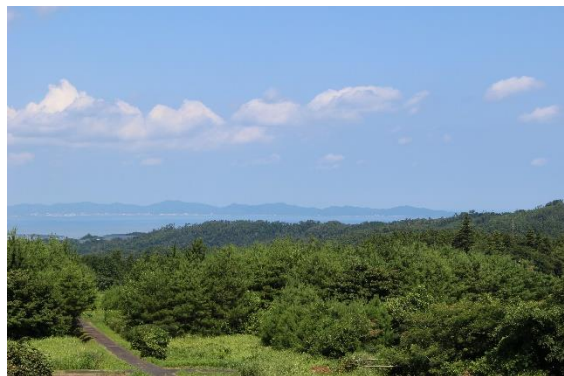


寺院の再現模型



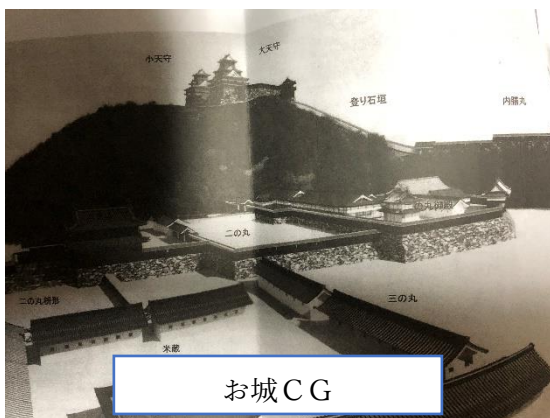
発見された土器

島根県が見える場所で写真撮影

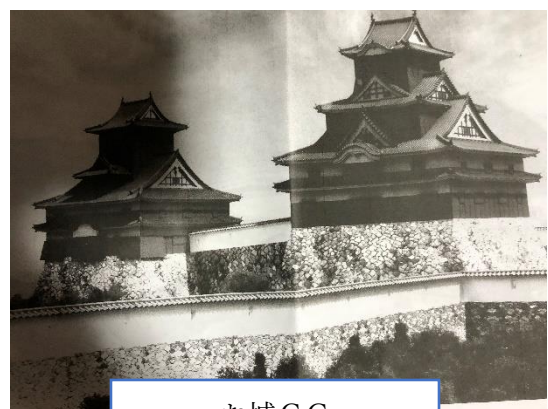


米子城下町での観光

観光タクシーの運転手がボランティアしているので、かなり細かい所まで説明してくれた。
石垣の上までは杖を持って歩いていたので断念！残念！



お城CG



お城CG

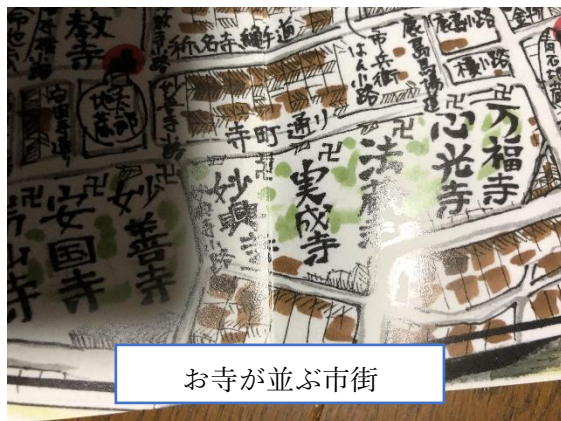
お城があった場所と当時の復元CGの資料をもらって説明してくれた。
武家屋敷が残っていて移築した場所があったが写真を撮り忘れる(;^_^A

当時のお城のマップと城下町、お寺が連なっている場所を説明してもらおう



米子城マップ

お寺が連なっている場所は有事の際に防衛のように使えるようにとの説明あり、葬式の時はどうするのだろうと思う(;^_^A



お寺が並ぶ市街

揖夜神社（いやじんじゃ、いふやじんじゃ）

商売繁盛、厄除け、病気平癒を願う神社の角が男の神様は尖っていて、女性の神様は平との説明を受ける、この地方だけらしい（神社の本殿向きが出雲神社と逆との事）

※夜には行っては行けない場所らしい。



拝殿前

黄泉平坂

揖夜神社（いやじんじゃ、いふやじんじゃ）の関係である世とこの世を塞いだ岩がある神社



映画のロケ地

「瞬またたき」という映画の関係で北川景子が映画でロケ地に来たとの事!(^^)!

赤猪岩神社「大国主（オオクニヌシ）の再生神話」の場所

ここが因幡の白兔の話の続きに繋がる神社で病院関係者の卵が参杯に来るらしい
大国主（オオクニヌシ）が命を落とし、母の愛と二人の女神の力で生き返った「再生神話」の地、兄神たちに騙されて、真っ赤に焼いた大岩に潰され命を落とした大国主（オオクニヌシ）が、それを悲しんだ母神とふたりの女神の力によって生き返ったとされる日本神話。それが、身体の**脊髄**蘇生を祈願する。



身体蘇生の祈願神社

京都にも清水寺があるが、こちらにも清水寺があるとの事で安来市清水寺へ！麓で昼食を摂る「ゆう心」という場所で精進料理を食べる。写メ撮り忘れ、ネットより2回目(;^_^A 島根牛の油がで胃が重かったので助かる(;▽ 😊



清水寺精進料理

『金屋子（かなやご）神社』（写メを撮り忘れたのでネットより3回目（笑））

奉納されている、たたらから出た鉄の塊を見て驚き
良質の玉鋼はこの鉄の塊を割って取り出されその玉鋼で刀剣を作る
日本の歴史と鉄の信仰が密接しているんだと感じる



途中で田んぼの説明をしてもらう。

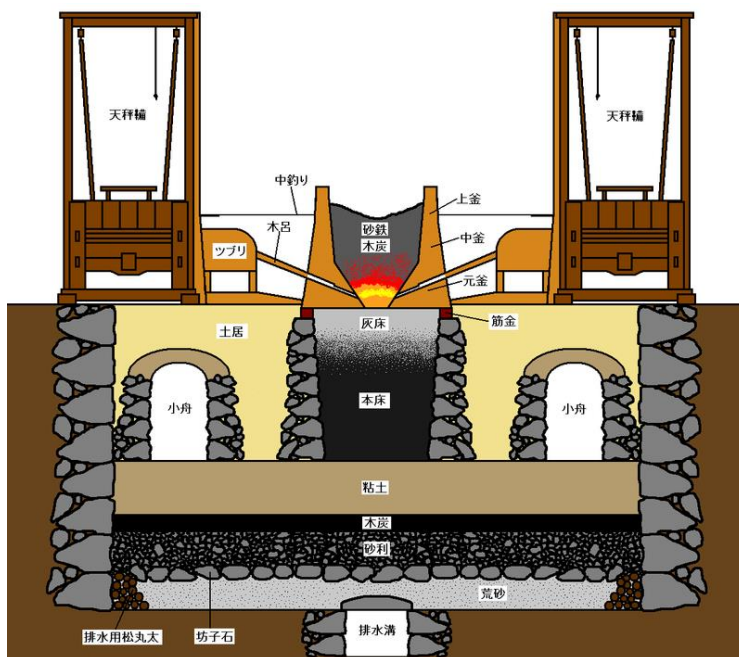
この地方では山を削り、川へ流し削って溜まった砂鉄が集まった場所を本場と言って今でもこの本場という言葉が、一番良い所で使う言葉の由来になっている。との説明を受ける。砂鉄を採り終わった。土は鳴らして牛糞を入れて蕎麦を作りその跡地が田んぼになるとの話聞く。

「出雲たたら刀剣館」



年に2回の鍛錬が観れるそうだが今回は見れず(>_<)

刀の元となる玉鋼の歴史を学ぶ、炭を焼き焼いた周辺にたたら場所を作り上げて3日間寝ずに火を入れ続けて玉鋼の元を作るなど私も昔の人は凄いなー、写メを撮り、もののけ姫もこんな世界だったな、ふと思って風を吹く機械は大勢?と聞くと左右一人で行う、そこで生まれた言葉が「地団太を踏む」「代わり番子」などの現在でも使われている言葉になっている!言葉に歴史を学ぶ観光になった。たたら語源も聞く古来タタール人が製鉄の技術を持っていたがそれが製鉄技術が追いつかなくなってしまった。製鉄の炭を作るため木を伐採してしまい、技術だけが伝承されて日本に渡来してきた、日本は炭を作る、木が生えるまで他の地域に移るの繰り返しでたたら製鉄がされてきたと説明してくれた(私の解釈なので違っていたらすいません)



たたら場所の図



たたら製法



たたら製法

道の駅「酒蔵奥出雲交流館」で日本酒を買う
写メを撮り忘れたのでネットより 4 回目(;^_^A



地元のお酒を堪能

お土産を買い、いよいよ、空港へタクシー観光の方にお礼を言って
飛行機搭乗口へ行く。飛行機に乗り込み窓から写メを撮る長いようで一瞬で終わってしま
ったなー感慨深い



出雲空港機内



ありがとう FDA

名古屋空港に着いたのは 19:20 分頃着陸、いよいよトイレの心配などすっかり忘れていた。

空港に着いてからは、今回はバスで名古屋駅までバスで移動、初日に止まったホテルに入り込む。

トイレに神経を使い、観光に酔いしれた旅も終わり、明日は名古屋駅から豊橋まで行き飯田線だとゆっくりと眠りに着く。

翌日は豊橋まで新幹線で移動後、午後より駅内をぶらぶらと喫茶巡り、本屋で本を買い電車が来るまで読みふける。

時間が来て特急伊那路に乗り込む



特急伊那路号

21:00 に飯田駅に到着して自宅に帰宅

今回はトイレに神経を使った旅行であったがトイレの管理と食べ物に注意すれば、あちこち行けるなと実感した。旅行先の人たちにも感謝感謝である。

今回苦労したのは、一人旅であったので、車の移動ではなく公共機関での移動は、キャリーケースに取り付けられるリュックサックが大変便利であった。キャリーケースを最終日は宅急便で送ってしまえばもっと楽が出来たと思う。次回に活かそうと思う。

